



# 地域支えあいニュース

第23号 平成30年12月

綾瀬市生活支援体制整備事業プロジェクトチーム

(事務局:綾瀬市社協 地域福祉班) 電話:0467-77-8166 ファックス 0467-79-1812

E-mail info@ayase-shakyo.or.jp

## ささえあい井戸端会議 合同勉強会開催

平成30年11月28日(水)保健福祉プラザにて、「ささえあい井戸端会議合同勉強会」を開催しました。

この勉強会は、未設置地区6地区のうち、すでに第2回勉強会を終えている4地区(蓼川、綾西、寺尾綾北、寺尾天台)を対象に、既に活動を行っている6地区の座長にお集まりいただき、それぞれの活動、課題、展望、未設置地区に伝えたいことをお話しいただきました。

質疑応答終了後は、地区ごとに「私たちの地区に井戸端会議ができれば」というテーマでワークショップを行い、先程登壇した座長の皆さんが助言者として、未設置地区のみなさんの疑問や不安に思うことなどについて丁寧にお答えいただきました。



未設置地区から出た意見に対して座長の皆さんが回答したこと

○自治会、地区社協などが活動している中で、新しいものを作る意味が理解できない。

- ・地域問題を取り上げる大変良い場となっている。
- ・組織の枠を超えた話し合いが行われている。
- ・実際に歳を取るのは事実。地域で支えあう仕組みを作ることが大事だと実感した。
- ・地区内で起こる様々な問題や課題をまとめる場が必要だと以前から思っていた。
- ・意見一つひとつはつまらないはなしかもしれないが、毎回新しい気づきがある。
- ・大きなことを考える必要はない。
- ・その地区にあった器の中でやれば良い。
- ・自治会、地区社協、民生委員の問題とは全く違う話し合いが良い。
- ・普段地区社協の定例会では話し合いができないことを話せるところが良い。
- ・出来ることを出来る人がやれば良い。
- ・隣近所の間人間関係が壊れている。これを修復することがこの活動の原点ではないか。
- ・組織化されている団体は綺麗事ばかりだが、井戸端会議は泥臭い身近な話が出てくるのが良い。



当初は、設置に対して否定的な意見も多くありましたが、座長の皆さんから話を聞くことで、最後は、「設置します」「前向きに検討します」と頼もしいご意見を引き出すことが出来ました。

今年度中の全地区設置を目指して、これからも地域の皆さんと対話してまいります。



※平成30年12月20日(木) ささえあい井戸端会議 蓼川が発足することになりました。